

2022年3月期

決算説明会

2022年6月2日



ムサシ 決算説明会

時間	内容	担当
16:00	開会・出席者紹介	司会
16:05	決算概況について	社長 羽鳥 雅孝
16:40	決算短信について	財務部長 山本 義明
16:45	質疑応答	当社出席者
17:00	閉会	司会

決算概況について

2022年3月期 実績 前期比

【連結】

(単位:百万円)

	21年3月期 実績	22年3月期 実績	差異	増減率
情報・印刷・産業システム機材	18,179	20,451	2,272	12.5%
金融汎用・選挙システム機材	3,491	7,245	3,754	107.5%
紙 ・ 紙 加 工 品	8,315	8,241	△74	△0.9%
不動産賃貸・リース事業等	273	274	1	0.4%
売上高合計	30,261	36,213	5,952	19.7%
営業利益	△97	1,746	1,843	—
経常利益	24	1,848	1,824	—
純利益	△28	981	1,009	—
1株利益	△3円91銭	141円53銭		

*「親会社株主に帰属する当期純利益」を「純利益」と表記しています。

*「選挙システム機材」の売上高は、すべて親会社であるムサシを通して販売を行っております。そのため、連結の売上高と単体の売上高は同一であります。
なお、同売上高につきましては、4ページ「2022年3月期 実績 前期比【単体】」をご参照ください。

2022年3月期 実績 前期比

【 単 体 】

(単位:百万円)

	21年3月期 実績	22年3月期 実績	差 異	増 減 率
情報・産業システム機材	6,825	9,059	2,234	32.7%
印刷システム機材	8,452	8,960	508	6.0%
金融汎用システム機材	1,087	1,052	△35	△3.2%
選挙システム機材	2,333	6,106	3,773	161.7%
紙 ・ 紙 加 工 品	4,422	4,645	223	5.0%
売上高合計	23,122	29,824	6,702	29.0%
営業利益	51	1,137	1,086	—
経常利益	254	1,277	1,023	402.4%
当期利益	177	863	686	387.7%
1株利益	24円26銭	124円48銭		

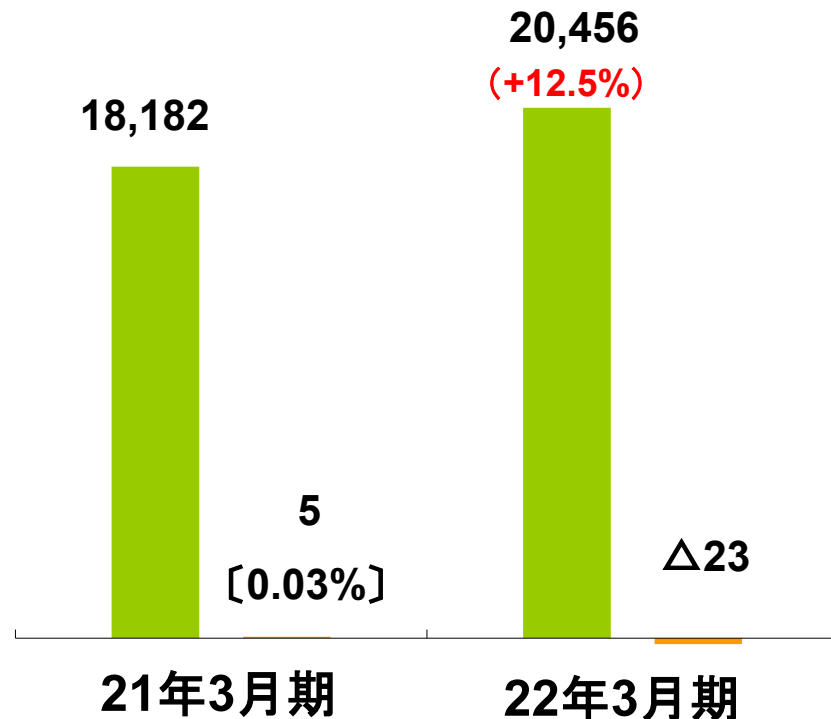
■ 情報・印刷・産業システム機材

売上高・営業利益

単位:百万円

[]:営業利益率

():前期比増減



ポイント

売上高

*セグメント間の内部売上高を含む

売上高:204億56百万円(前期比12.5%増)

■情報システム機材:

- ・「文書のデジタル化事業」は官公庁・自治体および民間企業からの受注が堅調に推移し増収。
- ・スキャナー等の機器や業務用ろ過フィルターの販売が伸長。
- ・工業用検査機器の販売は設備投資意欲減退の影響で減収。

■印刷システム機材:

- ・印刷材料の販売は順調も、印刷会社の設備投資意欲減退により、機器販売が減収。

営業損失

営業損失:23百万円(前期は5百万円の営業利益)

- 印刷機器販売の減収が影響し減益。

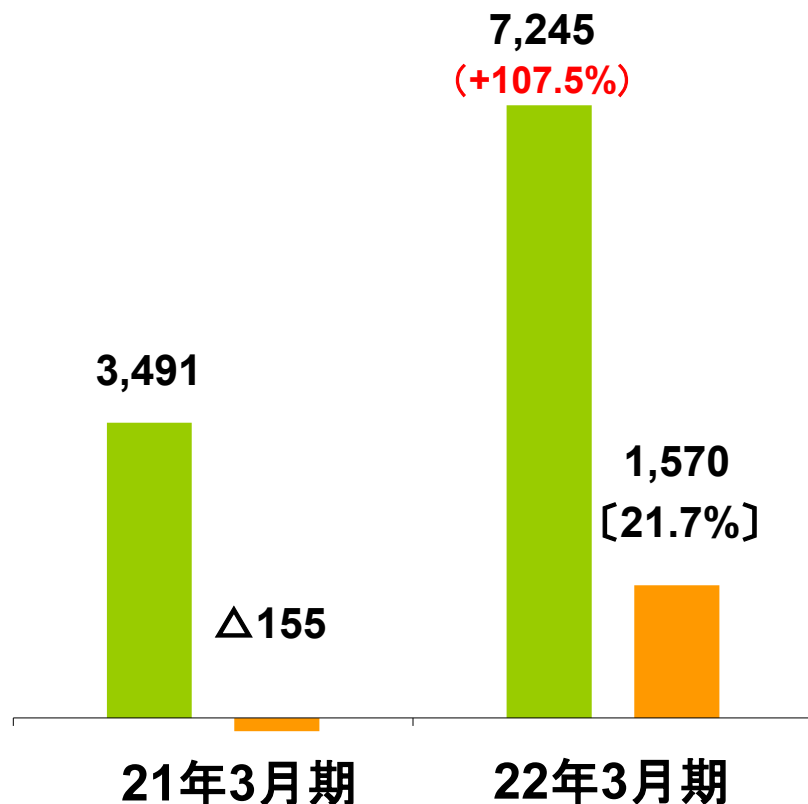
■ 金融汎用・選挙システム機材

売上高・営業利益

単位:百万円

[]:営業利益率

():前期比増減



ポイント

売上高

*セグメント間の内部売上高を含む

売上高: 72億45百万円(前期比107.5%増)

■ 選挙システム機材:

- ・衆議院選挙や東京都議会議員選挙をはじめとする全国の地方選挙向けに機器の販売が好調に推移。
- ・投開票管理システムの販売も伸長。(過去最高の売上高)

■ 金融汎用システム機材:

貨幣処理機器の販売が金融機関などの投資抑制の影響で減収。

*「金融汎用システム機材」と「選挙システム機材」の個別売上高については左ページの単体表を参照。

営業利益

営業利益: 15億70百万円(前期は1億55百万円の営業損失)

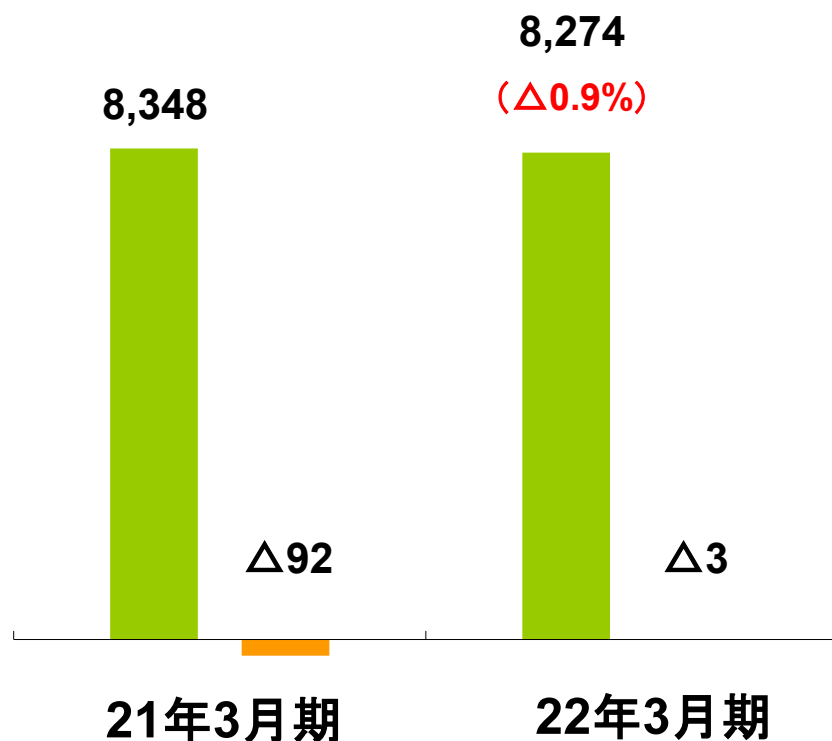
■ 選挙システム機材の増収影響により増益。

■ 紙・紙加工品

売上高・営業利益

単位:百万円

():前期比増減



ポイント

売上高

* セグメント間の内部売上高を含む

売上高: 82億74百万円(前期比0.9%減)

医薬品向け高機能紙器用板紙の販売は伸長するも、新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動の停滞やテレワークの拡大で、印刷用紙や情報用紙の販売が需要縮小の影響を受け、減収。

営業損失

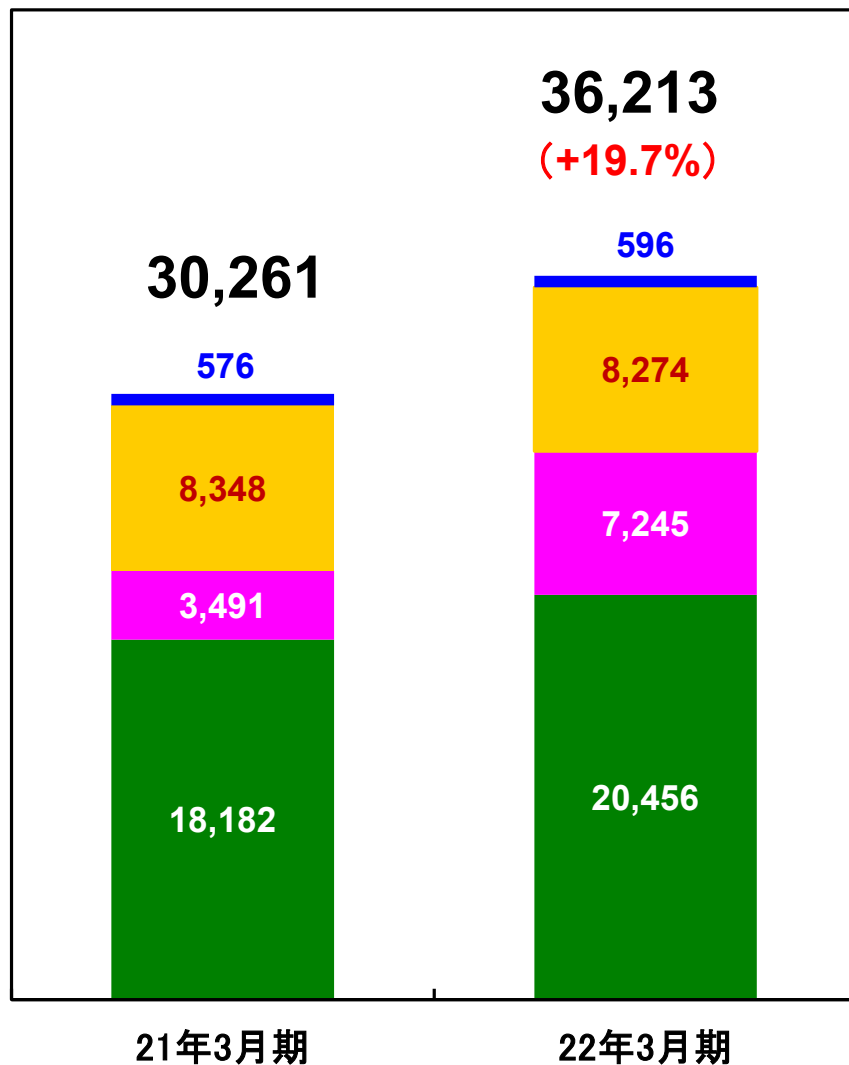
営業損失: 3百万円(前期は92百万円の営業損失)

■ 収益性が若干改善し、損失額が減少。

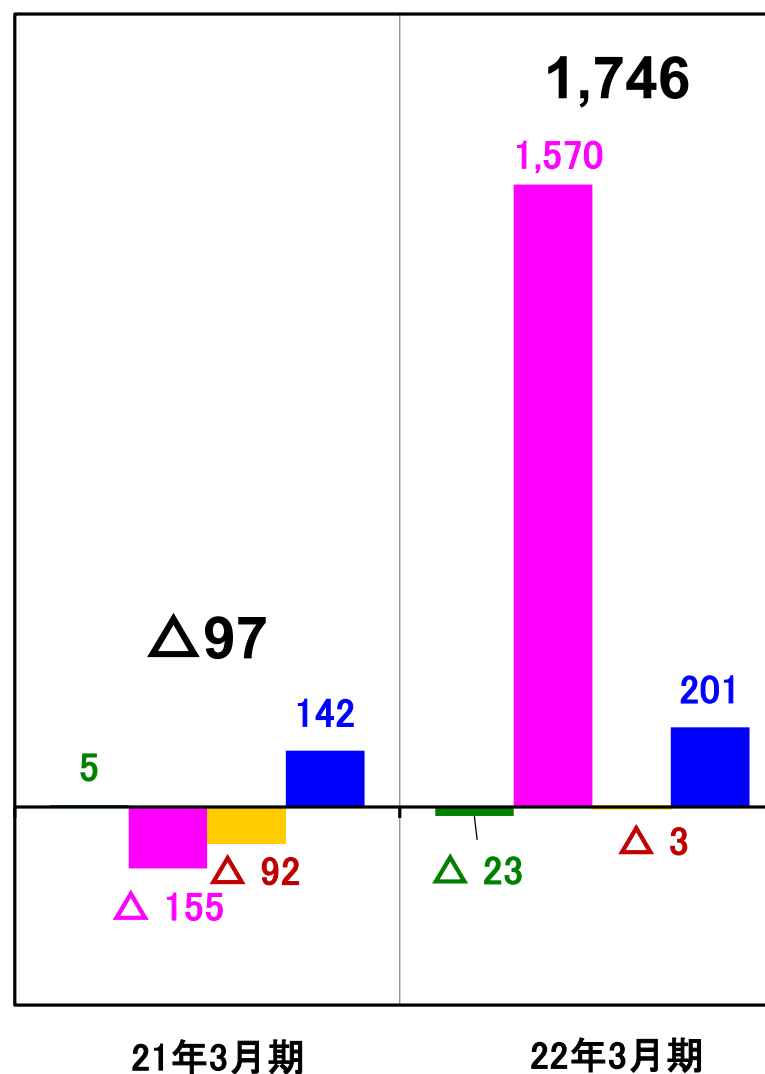
セグメント別売上高・営業利益(前年同期比)

売上高

* セグメント間の内部売上高を含む



営業利益



単位: 百万円

(): 前年同期比

- 情報・印刷・産業システム機材
- 金融汎用・選挙システム機材
- 紙・紙加工品
- 不動産賃貸・リース事業等

2022年3月期 実績 前年同期比

【連結】

* セグメント間の内部売上高を含む

■ セグメント別売上高・営業利益

(単位:百万円)

		21年3月期 実績	22年3月期 実績	差異	増減率
情報・印刷・産業 システム機材	売上高	18,182	20,456	2,274	12.5%
	営業利益	5	△23	△28	—
金融汎用・選挙 システム機材	売上高	3,491	7,245	3,754	107.5%
	営業利益	△155	1,570	1,725	—
紙・紙加工品	売上高	8,348	8,274	△74	△0.9%
	営業利益	△92	△3	89	—
不動産賃貸・ リース事業等	売上高	576	596	20	3.5%
	営業利益	142	201	59	41.5%
消 去	売上高	△338	△359	△21	—
	営業利益	2	2	△0	—
合 計	売上高	30,261	36,213	5,952	19.7%
	営業利益	△97	1,746	1,843	—

2023年3月期 業績見通し

■情報・印刷・産業システム機材

文書デジタル化需要が拡大、レーザー加工機など拡販に注力

●売上高見通し（連結通期）：204億53百万円（前年比2百万円増）

■金融汎用・選挙システム機材

参議院選挙向け拡販も、前年大型選挙需要の反動減

●売上高見通し（連結通期）：61億88百万円（前年比10億57百万円減）

■紙・紙加工品：堅調な需要が見込まれる紙器用板紙拡販に注力

●売上高見通し（連結通期）：85億28百万円（前年比2億87百万円増）

■不動産賃貸・リース事業等：堅調に推移する見通し

●売上高見通し（連結通期）：2億71百万円（前年比3百万円減）

2023年3月期 見通し 前年比

売上高 前期に大幅伸長した衆議院選挙や都議会議員選挙向け需要が剥落し、減収。

利益 自社開発商品「選挙システム機材」の減収効果で減益。

【連結】

(単位:百万円)

	22年3月期 実績	23年3月期 見通し	差異	増減率
情報・印刷・産業システム機材	20,451	20,453	2	0.0%
金融汎用・選挙システム機材	7,245	6,188	△1,057	△14.6%
紙 ・ 紙 加 工 品	8,241	8,528	287	3.5%
不動産賃貸・リース事業等	274	271	△3	△1.1%
売上高合計	36,213	35,442	△771	△2.1%
営業利益	1,746	1,157	△589	△33.8%
経常利益	1,848	1,198	△650	△35.2%
純利益	981	753	△228	△23.3%
1株利益	141円53銭	110円50銭		

*「親会社株主に帰属する当期純利益」を「純利益」と表記しています。

*「選挙システム機材」の売上高は、すべて親会社であるムサシを通して販売を行っております。そのため、連結の売上高と単体の売上高は同一であります。
なお、同売上高につきましては、12ページ「2023年3月期 見通し 前年比【単体】」をご参照ください。

2023年3月期 見通し 前年比

【 単 体 】

(単位:百万円)

	22年3月期 実績	23年3月期 見通し	差 異	増 減 率
情報・産業システム機材	9,059	8,200	△859	△9.5%
印刷システム機材	8,960	9,380	420	4.7%
金融汎用システム機材	1,052	1,420	368	35.0%
選挙システム機材	6,106	4,700	△1,406	△23.0%
紙 ・ 紙 加 工 品	4,645	4,700	55	1.2%
売上高合計	29,824	28,400	△1,424	△4.8%
営業利益	1,137	588	△549	△48.3%
経常利益	1,277	690	△587	△46.0%
当期利益	863	428	△435	△50.4%
1株利益	124円48銭	62円81銭		

設備投資・減価償却費・研究開発費の推移

(単位:百万円未満切捨て)

		2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3 (予想)
設備投資 (有形のみ)	連結	215	311	219	574	258	219	273	228	718	160	758	193
	単体	130	29	59	43	21	83	50	27	110	34	81	46
設備投資 (有形+無形)	連結	365	320	273	709	287	247	313	301	855	312	772	270
	単体	168	36	79	146	38	101	53	30	176	79	81	100
減価償却費	連結	385	355	326	324	372	308	322	332	338	326	421	446
	単体	145	122	102	122	104	104	96	97	83	106	98	104
研究開発費	連結	99	106	100	140	163	122	106	136	126	165	164	130
	単体	55	102	96	129	124	89	76	111	100	135	132	129

利益配分について(配当金)

基本方針：「内部留保の充実」と「業績に応じた利益還元」

22年3月期の配当金

- 中間配当：18円 (普通配当12円+特別配当6円)
- 期末配当：22円
(普通配当12円+特別配当2円+記念配当8円)

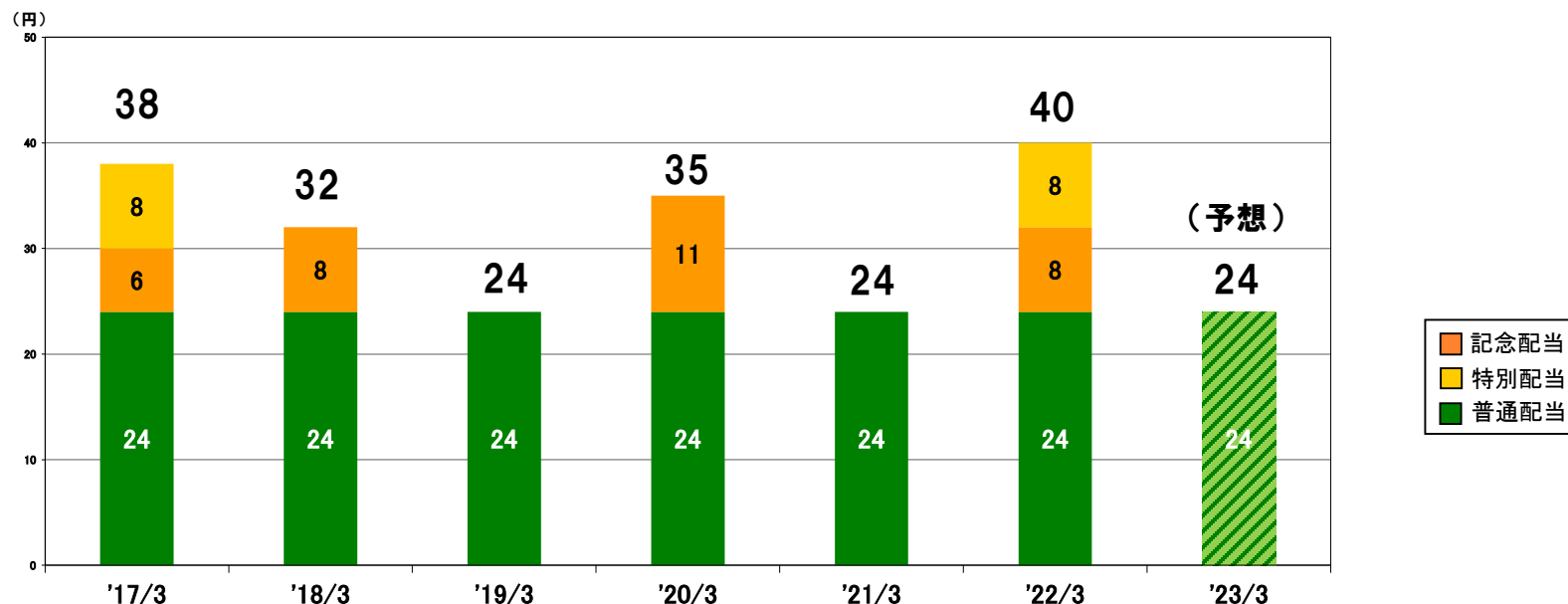
年間配当金：40円 (普通配当24円 + 増配16円)

23年3月期の配当金(予定)

- 中間配当：12円 (普通配当)
- 期末配当：12円 (普通配当)

年間配当金：24円

〔年間配当金の推移〕



各事業の状況

■ 概要

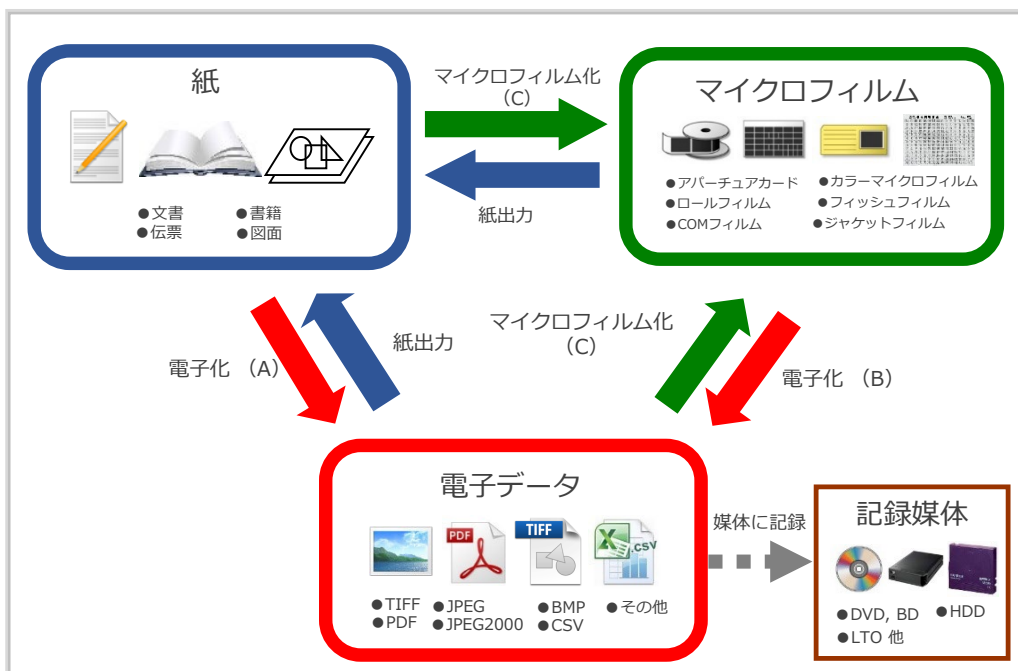
- (A) 紙媒体を電子データ化するサービス
 - ペーパースキャニング ●データ入力
- (B) マイクロフィルムを電子データ化するサービス
 - マイクロフィルムコンバート ●データ入力
- (C) 紙媒体・電子データをマイクロフィルム化するサービス
 - マイクロフィルム撮影

■ 特長・強み

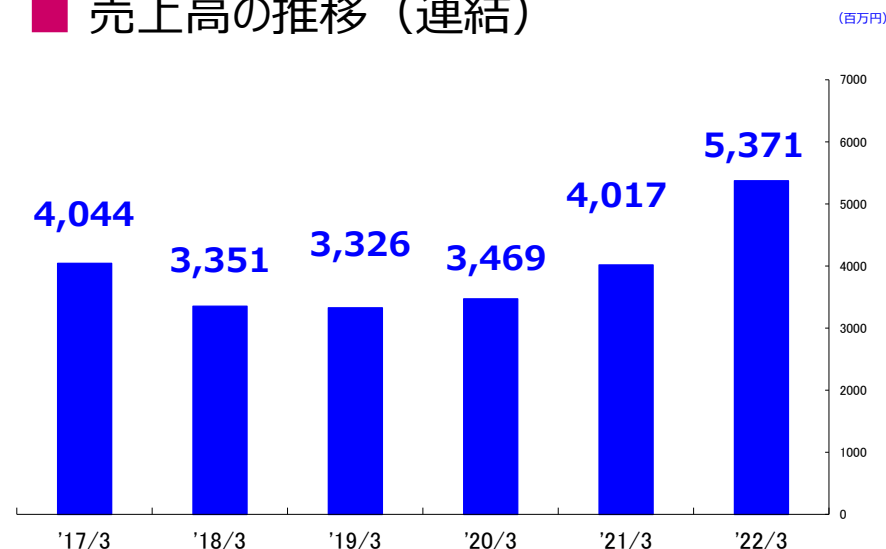
- 高品質の加工処理
- 元資料に対する万全なセキュリティ管理
- 高い生産性・・・国内最大のイメージングセンター一貫した工程管理



正確で効率的なデータベース作り



■ 売上高の推移 (連結)



官公庁・民間企業とも需要拡大

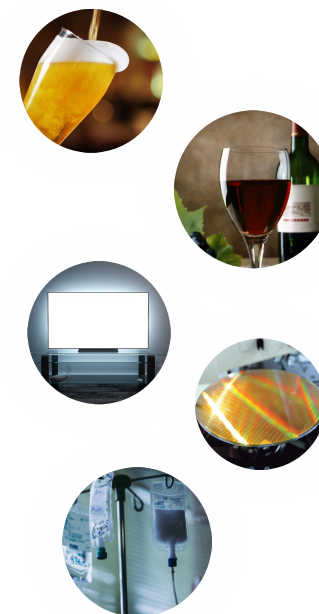
マイクロフィルター

(情報・産業システム機材)

■ 機能・・・マイクロメートル単位の微粒子・微生物を「ろ過」によって分離・除去

〔用途（例）〕

分野	製品	目的
食品・飲料	ビール	醸造/セキュリティ
	ワイン・日本酒	清澄化、除菌
	ミネラルウォーター	除菌（非加熱製造）、除粒子
	乳製品	タンクのエアベントなど
	その他	原水/ユーティリティ
エレクトロニクス	液晶パネル（TFT/ガラス/CF）	洗浄液・薬液のろ過
	半導体（LSI/ウェハー）	めっき液・洗浄液のろ過
	一般電子（HDD）	部品洗浄液のろ過
医療	内視鏡などの洗浄液	清澄化、除菌



■ 販売状況



印刷システム機材 新商品 <Webコンテンツ作成ツール『キュリア』を発売>

スマホサイトやキャンペーンコンテンツが簡単に作成できるシステム

『キュリア』を印刷業界向けに発売

印刷会社の導入メリット



企画力の向上

媒体違いの提案商材を持つことにより、企画の幅が向上
様々な企画を想定したテンプレートも用意



他社との差別化

コンセプトがブレないサービスを組み合わせることで、他社にはないオリジナルの提案が可能



受注単価向上

利益率の高いデジタルツールとの組み合わせ提案により、値下げ防止、単価アップ

選挙機器 新商品 <投票用紙計数機をフルモデルチェンジ>

『テラック EL2KD』を発売

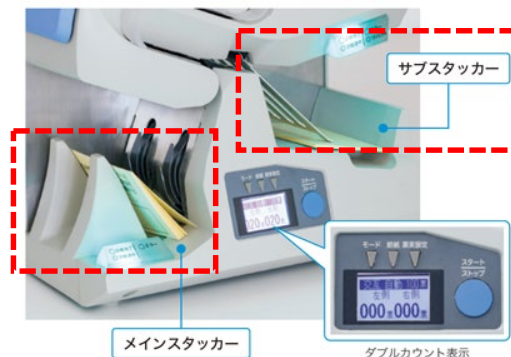
- 2つのスタッカーで開票作業の大幅なスピードアップ ⇒ 作業者の人員削減を実現

(業界初) 計数された投票用紙が収まるスタッカーを2つ装備

1つ目のスタッカーが指定枚数に達した時点で、2つ目のスタッカーに用紙が流れる新設計
機械停止のロスタイムを省き、作業効率の大幅アップ



『テラックEL2KD』



業界初

デュアルスタッカー
ノンストップ計数

選挙機器 新商品 <投票用紙読取分類機をリニューアル>

『テラック CRS-VAn』を発売

- 予備スタッカー機能でノンストップ稼働を実現

予備スタッカーに投票用紙を流す新機能により、機械動作を止めずに分類作業を行い、開票業務のスピードアップを図る新製品を発売



『テラック CRS-VAn』

新機能

新機能・ノンストップ分類

新・文字認識エンジン

候補者別分類票数表示